

情報デザイン学科生のカラフルな作品
 金沢21世紀美術館



感性、そして創造力

卒業研究制作展

美術工芸学科



美術工芸学科生の大作

金沢学院大学美術文化学部第五回卒業研究制作展は三月六日から九日まで、金沢市の金沢21世紀美術館で開催されました。四年間で磨いた感性を形にした創造力あふれる作品三百三十二点が並び、来場した人たちの目を引きました。

美術工芸学科では日本画、洋画、漆芸、陶芸の四分野合わせて大小約百七十点を展示しました。絵画には最大150号の大作もありました。漆芸では精緻な沈金を施した棗（なつめ）、椀、盆などで技術の高さを上演しました。

示しました。

情報デザイン学科では、

映像システム、アニメーション、グラフィックデザイン、立体造形など約百二十点を並べ、斬新な発想をアピールしました。

パフォーミング作品（身体表現）として、演劇部に所属した卒業生が恋愛を素材にしたオリジナル作品を上演しました。

東高にタイから留学生

今春3人

現地から視察団

金沢学院東高校は今年四月、タイ南部のナコーン・



留学生派遣を打ち合わせるタマラート市訪問団一行
 (左) 金沢学院東高校

シー・タマラート市から高校生の留学生三人を三年間受け入れることになりました。これに向けた視察と挨拶のため三月六日、現地からパウイン・ナパッタラン副市長ら五人が、同校を訪れ、生徒の交流を通じて友好親善に努めることを確認しました。

石田毅士郎校長、上山夏樹金沢学院副理事長が「生徒が少しでも日本語が上手になるように環境づくりに努めたい」などと歓迎したのに対し、ナパッタラン副市長は「いろいろ話を聞かせてもらい、親たちが安心して子供を日本に送り出せるようにしたい」と協力を要請しました。

留学前に学長に挨拶

平成二十年度前期に留学する金沢学院大学の学生三人が三月四日、石田寛人学長に挨拶しました。

左に挨拶しました。写真左。いずれも文学部国際文化学科の中出景子（カナダ・カモーションカレッジ、一年間）、瀧下仁美（ユーロセンター・ケンブリッジ校、半年間）、本田友美（ロンドンセントラル校、同）の皆さんです。三人はそれぞれ「他国の留学生と交流し、相手の国を知りたい」、「語学能力はもってるん、自分の視野を広げたい」、「興味のあることに積極的に取り組みたい」などと抱負を話しました。石田学長は「上手な英語でなくても自分の思いを口に出して話すことが大切」と激励しました。



双子姉妹が国公立合格

金沢学院東高校を昨年卒業した双子の姉妹、千田えりさん、ゆりさんが今春そろって国公立大学にダブル合格しました。えりさんが金沢大学の人間社会学域地域創造型類、ゆりさんは埼玉県立大学の保健医療福祉学部健康学科（口腔保健）にそれぞれ合格しました。

文化財学科の卒業研究発表会に臨んだ学生



情報デザイン学科

美術文化学部

文化財学科

優れた歴史的考察を披露

文化財学科では、卒業生三十八人が卒業研究の概要をパネル展示しました。このうち優れた内容の五人がシアター21で研究内容を発表し、独自の歴史的考察を説明しました。

同学科の中村晋也講師が「能登半島地震と被災文化財の保全活動」のテーマで講演した後、卒業生が金沢の町家にある格子や能登島

山文芸などに関する研究について発表し、担当教員が意義などを解説しました。発表者とテーマは次の通り。▽向亜斗「金沢における町家正面意匠の特徴」▽西浦光「敦賀平野における弥生時代の一考察」▽岩崎大地「幕末長州藩における被差別民軍事登用の意図」▽牛村里美「近世加賀藩におけるキリシタン類族改めについて」

発行・広報室